



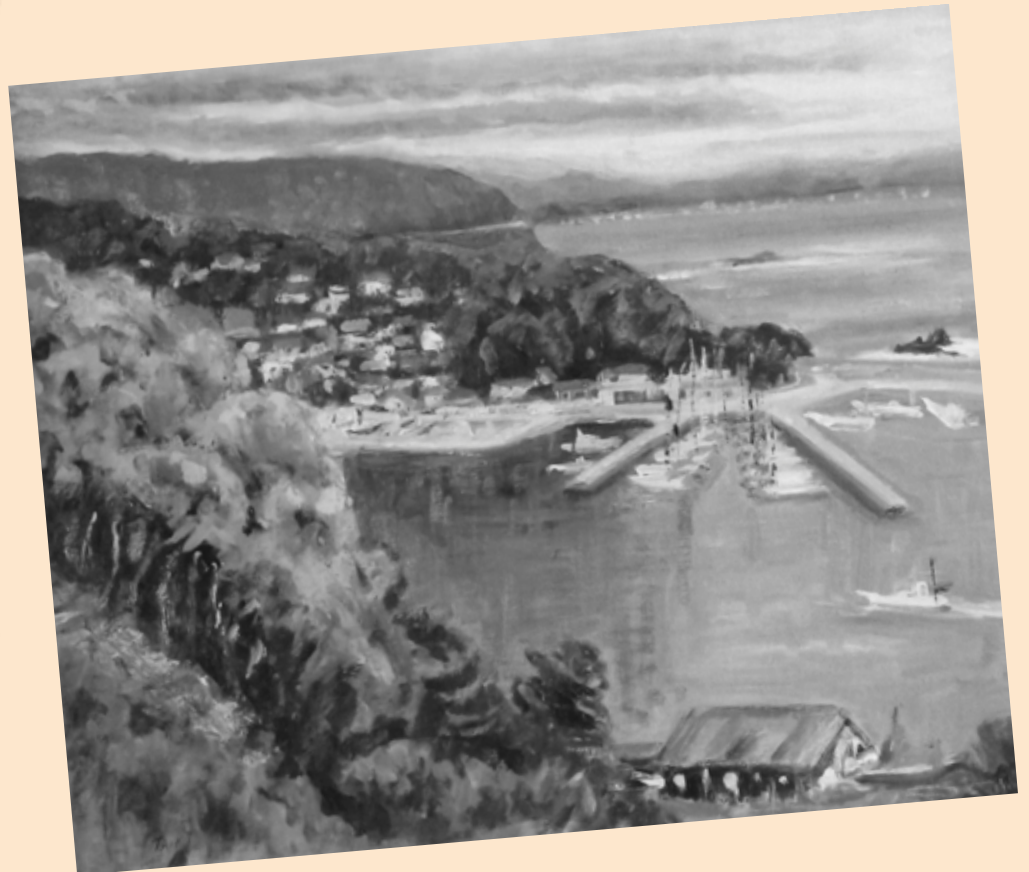
MANAZURU

議会だよりまなづる

No. **48**

2015年(平成27年)

8月1日発行



私

の好きな場所

「楠若葉の頃」

絵の作者 青木 辰江さん

お宮さんの上の途中から、楠若葉の美しさにひかれて…

C 目次 ontents

4月臨時会・6月定例会	2-3P
審議結果	3P
一般質問	4-7P
議長の部屋	8P
委員長・副委員長研修会報告	8P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
電話0465-68-1131(内線360)
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

議長の部屋



青木 厳

予算繰越明許について

昨年度に予算計上した旧真鶴グランドホテル横にある老朽化した第3配水池の改築事業が終了しました。予算繰越明許理由は、設計変更により事業を完了できず、地方公営企業法により年度内に支払義務が生じなかった工事経費を27年度に繰り越して支払うことの報告でした。事業費は、1億8千6百万円で企業債が1億2千8百万円で国庫補助が8百万円です。

昭和4年に水道通水が始まりましたが、しかし塩分濃度が比較的高い飲料水には適さない水道水でした。(岩地区は、大正13年から簡易水道があり水道水に余裕がありました)昭和26年から湯河原吉浜町の新崎川に水源を確保し吉浜、福浦、真鶴、岩地区に水道管を埋設する計画を立てましたが話が進みませんでした。町人口の増加に伴い昭和43年から飲料水の供給不足が生じ、節水、断水が始まり翌年4月から湯河原町から「臨時応急処置」として日量1000トンの友情給水をお願いし供給不足水量が2500トンまで増水してきました。

昭和33年に小田原市江之浦字赤沢の土地に湧水を確保して、昭和36年に落成通水式を行いました。しかし東海道新幹線トンネル工事の影響で1週間後には湧水が止まりました。(当時3千万円の事業費を費やしました)わが町は、水道水確保のため新幹線小田原工区長からトンネル内導水施設から日量3千トン給水施設を国鉄が全額保証する導水、送水ポンプ施設・送水管埋設は町が負担する。用地(小田原市内の土地)については、国鉄と町が処置することになり、用地買収は難航しましたが、昭和39年10月に通水式をとり行いました。(当時の工事費総額は、6千5百万円)わが町の水道事業は、岩地区の地下水源

議会運営委員会

議会運営委員会では、真鶴町議会と町民との意見交換会・真鶴町議会報告会の実施要綱、真鶴町議会防災危機管理要綱、真鶴町議会議員研修実施要綱の見直し及び策定を完了し、現在は真鶴町議会運営基準の見直しを行っています。

進捗状況は月に2回の委員会開催により、第1章総則より第9章請願・陳情まで終了しました。見直しについては、文言の整合性や新たな条文の追加、検討した中で不要となった条文の削除など、他町村の状況なども調査しながら丁寧に作業を進めています。最終章の、その他の事項まで、これからも委員全員で取組んで参ります。

議会運営委員会

委員長 板垣由美子

委員長・副委員長研修会

神奈川県町村議会議長会主催の委員長・副委員長・事務局長研修会が5月22日(金)に開催されました。この研修会は毎年開催されており、今回は「地方創生の展望と議会の役割」と題し、毎日新聞社論説委員の人格格氏の講演が行われました。

昨年度からスタートした地方創生事業について、全体像に続き、

- ・人口減少問題と消滅可能自治体
 - ・総合戦略策定に関し自治体に問われるもの
 - ・これまでの政府の施策と今後の見通し
 - ・これからの最大の課題である地方版総合戦略等について話された後、求められる地方議会の奮起についても触れられました。
- 真鶴町議会でも、地方創生等検討特別委員会を中心に議論し、提案・提言を行っていきます。

地方創生等検討特別委員会

委員長 高橋 敦

編集後記

夏真っ盛り！いかがお過ごしでしょうか？

この間、アフリカはウガンダから知人が真鶴に訪ねて来てくれました。帰路、真鶴駅で同じく外国からの三人の旅行者と遭ったそうです。彼らは、真鶴を地図で知り、東京から近くて素晴らしい場所なのに外国人観光客が少なく驚いたと言います。これからラグビーW杯、オリンピックと日本で開催されるイベントが目白押し。多くの方が訪ねていただけるよう、情報発信を続けてまいります。

議会広報特別委員会

副委員長 光吉 孝浩

議会広報特別委員会

- 委員長 村田 知章
副委員長 光吉 孝浩
委員 田中 俊一
黒岩 範子
高橋 敦
岩本 克美